



【先週 8月22日～8月28日の外食の出来事】

■チムニー、第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績

2022年3月期 第1四半期の連結業績は売上高 15億6700万円(対前年同期比 25.8%減)、営業損失 13億2900万円(-)、経常利益 17億6300万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益 11億7600万円(-)であった。

■コロワイド、公募増資で200億円調達 店舗へ投資急ぐ

コロワイドは24日、公募増資などで約200億円を調達すると発表した。調達資金は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う収益減を受けて運転資金とした借金の返済に充てるほか、一部を店舗新設や改装、業態転換に振り向ける。

■モスフードサービス、第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績

2021年3月期 通期の連結業績は売上高 186億4400万円(対前年同期比 16.3%増)、営業利益 8億5700万円(-)、経常利益 8億7200万円(-)、四半期純利益 7億6000万円(-)と増収増益を確保した。

■力の源ホールディングス、第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績

2022年3月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高 41億8800万円(前年同期比 25.3%増)、営業利益 1900万円(-)、経常利益 2400万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失 7200万円(-)であった。

■ヴィア・ホールディングス、第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績

2022年3月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高 21億8600万円(対前年同期比 10.3%増)、営業損失 3億7300万円(-)、経常損失 2億6800万円(-)、四半期純利益 4億7900万円(-)であった。

■「丸亀製麺」韓国撤退 事業回復見通せず

「丸亀製麺」が今月、韓国のすべての店舗を閉め、事業から撤退。長引くコロナ禍で事業回復が見通せないことなどが理由だということです。丸亀製麺は2012年に韓国に進出し、明洞や江南などに最大で12店舗を構えました。

■7月の外食売上高は前年比 102.1%も 前々年比は 86.3% JF

7月は、「緊急事態宣言」又は「まん延防止等重点措置」が沖縄、大阪、首都圏などに適用され、下旬には原則無観客五輪が始まり、持ち帰り需要が強みのファーストフードが外食全体を牽引した。

■幸楽苑 HD、10億円調達 劣後ローンで

幸楽苑は、日本政策投資銀行からの劣後ローンで 10 億円を調達。コロナウイルス禍で打撃を受けた期間の運転資金とするほか、手薄だった持ち帰りや宅配の強化、デジタル技術導入などに向けた設備投資に振り向ける。

■安楽亭、第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績

2022年3月期 第1四半期(2021年4月～6月)の連結業績を発表。売上高 52億5700万円(対前年同期比 0.2%減)、営業損失 8億4800万円(-)、経常利益 2億100万円(-)、四半期純損失 9800万円(-)であった。